



# 学校だより

墨田区立第三吾孺小学校  
校長 川中子登志雄  
令和4年2月1日  
2月号

## YOASOBI と SDGs と共生

副校長 手山 晃洋

先日、6年生の音楽の授業を見に行った時のことです。「今度の合奏は YOASOBI の『三原色』です。卒業のことを考え、6年生の先生たちと一緒に選びました。」音楽の谷貝先生が言った瞬間、クラスにどよめきが。中には思わず立ち上がり歓声をあげる児童も。ここまで子供たちに知れ渡っているアーティストとは知りませんでした。

YOASOBI を私が意識したのは、この大晦日の NHK 紅白歌合戦でした。「『夜遊び』なんてあまり良いイメージでないし、ローマ字？最近の若い人たちは・・・」程度にしか思っていませんでしたが、実際に歌っている姿を見ると、なかなかのもの。『群青』と『ツバメ』の2曲を歌っていました。

### 『ツバメ』

YOASOBI with ミドリーズ 作曲：Ayase 作詞：Ayase

煌く水面の上を 夢中で風切り翔る  
翼をはためかせて あの街へ行こう 海を越えて  
僕はそう小さなツバメ 辿り着いた街で触れた  
楽しそうな人の声 悲しみに暮れる仲間の声

みんなそれぞれ違う暮らしの形 守りたくて気付かないうちに  
傷付け合ってしまうのはなぜ 同じ空の下で

僕らは色とりどりの命と この場所で共に生きている それぞれ人も草木も花も鳥も  
肩寄せ合いながら 僕らは求めるものも 描いてる未来も違うけれど 手と手を取り合えたなら  
きっと笑い合える日が来るから 僕にはいま何ができるかな

誰かが手に入れた豊かさの裏で 帰る場所を奪われた仲間 本当は彼も寄り添い合って 生きていたいただけなのに

悲しい気持ちに飲み込まれて 心が黒く染まりかけても 許すことで認めることで 僕らは繋がり合える

僕らにいまできること それだけで全てが変わらなくたって 誰かの一日にほら 少しでも鮮やかな彩りを  
輝く宝石だとか 金箔ではないけれど こんな風に世界中が ささやかな愛で溢れたなら  
何かがほら変わるはずさ 同じ空の下いつかきっと それが小さな僕の大きな夢



この曲は、第三吾孺小学校の教育目標にもある「共に生きる」をテーマに NHK が 10 代の人たちから物語を募集し、それをもとに作成された NHK の SDGs 番組「あお きいろ」のテーマソングとなります。募集した物語の優秀作品を以下のホームページから読むこともできます。「共に生きる」について、ご家庭で話し合う機会としていただければと思います。

【YOASOBI とつくる未来のうた】 <https://www.nhk.or.jp/irotoridori/song/>



## 第三吾孺小学校教育目標プロモーションビデオ完成！

### 三吾小合唱団・教教育目標のうた『自立・共生・健康』

教育目標の理解を深め、常に意識して生活できるようにすることを目的として作られた「教育目標のうた『自立・共生・健康』」を、三吾小合唱団による合唱のプロモーション・ビデオが完成し、1月11日よりホームページ上で公開しています。

もともと、コロナ禍の子供たちを明るくしたい、笑顔と歌声のあふれる学校にしたいという思いから作られた歌です。ホームページから開いて、ご覧ください。



今の私たちに必要なのは

## 令和3年度学校評価保護者アンケート・自由意見より

12月にご協力いただいた学校評価保護者アンケートでは、学校の教育活動への感謝やねぎらいなど、温かい励ましのお言葉をたくさんお寄せいただき、教職員一同、たいへん感謝しております。そのほか、保護者の皆様のお気づきの点や学校の教育活動に対するご要望等もいただきました。それら、一つ一つのご意見・ご要望については、現在学校で組織的に分析・検討を行い、改善案を作成しているところです。

新型コロナウイルス感染症対策については、様々なご意見をいただき、対応の難しさを痛感しているところです。子供たちのマスクの着用については、以下のご意見の他にも、数名のご家庭からご意見をいただきました。保護者の皆様にも、一緒に考えていただければと思います、一部ご紹介させていただきます。

以下の点について心配している。不織布マスクのお願いをしているなら徹底してほしい。

紙マスクのお願いがあると布マスクをして行きづらい。肌荒れや息苦しさ、頭痛があるため、布マスクでも大丈夫な雰囲気を作ってほしいです。

#### マスクによる子供の健康被害について

毎日、1日何時間もマスクをつける生活を何年も過ごしてきて最近では子供達が頭痛がすると訴えるようになりました。マスクには感染予防効果はあるのでしょうか？マスクを購入したパッケージの裏にはきちんとマスクは感染を予防する効果は無いと書かれてあります。じゃあ皆さん何の為にマスクをしているのでしょうか？どこに行ってもマスクをして下さいと言われてられるがまましている 周りがしているからしている するよう言われてるからさせている、している。そんな感じではないでしょうか？でも、自分たちでよく調べて下さい。マスクをするかどうかは本人が決めるべきで強要はできません。でも、子供達は先生の言う事を聞くのが当たり前だと思っています。それでは先生がしてと言えば当然子供達は自分の意思に関わらずマスクをしてしまいます。自分の具合が悪いかにも気づかず。これでは健康被害、事故が起きて当然ですね。ニュースでマスクによる悲しい子供の死亡がありましたよね。厚生労働省、WHO、文部科学省でも、公式で必ずしもしなきゃいけないとは言っていない。文部科学省へ問い合わせをした所学校現場マスクは強制不可、保護者裁量と文部科学省が答弁。文科省健康教育食育課への問い合わせです。担当者が責任者に確認した上での答弁です。子供達のマスク内のCO2レベルはドイツとポーランドの研究者によると6-17歳の子供達のマスク内のCO2レベルを計測すると平均13120-13910ppm 推奨値の

約許容範囲の約 2.7 倍 最大 25000ppm 推奨値の約 16 倍、許容範囲の約 5 倍年齢が下がるほど CO2 レベルが上昇し、一番高い値は 7 歳で、年齢が低いほどマスクと鼻の間のデッドスペースが少なく二酸化炭素が溜まりやすいのでは無いかという考察。地下駐車場などで起こる二酸化炭素放出事故をご存知でしょうか？人は濃厚度の二酸化炭素を吸いすぎると命に関わる被害を受ける可能性があります。建築基準法でも CO2 濃度が 1000ppm 以下になるよう、全ての建築物に 24 時間換気システムを設置する事が原則として義務付けられています。酸素不足により脳に必要な酸素が届かず脳細胞が死んでいく、死んだ脳細胞は復活しません。酸素不足は視力低下の原因となり、またマスクを長時間着用することへのストレスも心因性視力障害を引き起こす原因となるようです。子供達はマスクにより集中力が低下し眠気に襲われ、イライラ、疲れ、肩こり、鬱に似た症状が起こると言われています。教室が基準値内であっても、子供達がマスク下で濃厚度の CO2 を吸っていると言う矛盾は放置できる問題では無いと考えます。第三吾嬭小学校の教育方針は「全ては子どもたちのために」を合い言葉に実践との事でしたが、出来ていますか？自ら学び行動する人。入学して、早々子供達に暗記させてましたよね？テレビが、知事が、総理が、マスクをしろ、消毒をしろ、そう言うからしているだけ子供達にもさせている。そういう事にはなっていませんか？先生達一人一人がきちんと自分たちで調べ学んだ上で子供達に責任ある行動をしていますか？先生方は子供達のお手本です。先生方が自ら学び行動をしなければ子供達もそうならないと思いませんか？

(後略)

私も、できることならマスクのない学校を取り戻したいと心から願っております。マスクの生活が与える精神面での問題は、健康面以上に重くも考えています。しかし、現在の本校の方針は、東京都および墨田区教育委員会のガイドラインに則り、以下の通りとなっています。

- 児童は、原則、体育および給食時を除き、マスクを着用する。
- 体育の学習中は、活動にあわせ、原則マスクは外す。
- マスクについては、不織布のマスクを推奨する。(布マスクは「禁止」ではありません。)
- マスクの着用については、健康上等の問題がある場合は、個別に対応を検討する。

いずれにせよ、科学的にも「絶対にこれが正しい」という判断ができない今大切なのは、それぞれの意見を受け止め、尊重する態度であると考えています。もし、大部分の子がマスクをしている中で、マスクをしていない子がいるとき、みんなで話し合っ、共に生きる道を探ることです。そのために私たちは、自ら学び、考えつづけなければなりません。

本校では、特に健康面の事に関しては、原則的に、ご家庭のお考えを優先したいと思っています。お子さんの健康面について不安な点がございましたら、お気軽に担任もしくは養護教諭までご相談ください。



1月17日、1回だけ実施できた全校朝礼の様子

(校長 川中子登志雄)

### ◆インターネット写真展示のご案内◆

体育学習発表会と学習発表会のスナップ写真をインターネット上で展示いたします。販売価格やご利用方法などの詳細は、後日プリントを配布いたしますのでご覧ください。

展示期間は 2022年2月14日(月)までです。よろしく申し上げます。